

書き手の思考の流れを正確に理解する生徒の育成 —協働学習のための学習プリントの工夫—

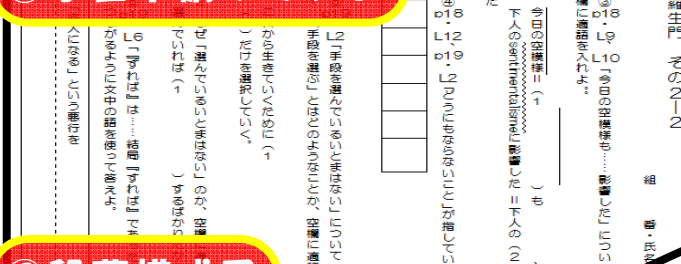
特別研修員 国語 伊藤博一（高等学校教諭）

理想の生徒 書き手の思考の流れを正確に理解する生徒

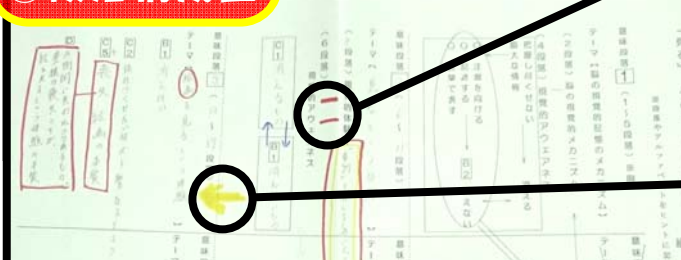
【手立て】

協働学習のために、思考の流れを**可視化できるプリント**を用意する。

① 学習準備プリント



② 段落構成図



意味段落1で大事なものは、準備プリントのこの問題じゃないかな？

この内容とこの内容は同じだから、「＝」でつなごう！



3段落は、2段落の進展だから、つなぐ記号は「←」でいいかな？

段落構成図に部分同士や段落同士のつながりをあらわす記号を記入し、文章の流れを可視化する。

学習準備プリントから大切な部分を抜き出し、段落構成図に記入する。

学習準備プリントで、本文の内容理解をする。

①・②を使って、部分や段落同士のつながりを協働学習で考える。

文章のつながりや、流れを理解するのが苦手…



授業中、どうやって話し合ったらいいのか分からない…

成果

- 学習プリントを使うことで、協働学習でどのように「流れ」を話し合うか明確化した。それによって、文章のつながりや全体像を意識し、理解できるようになった。
- 書き手の思考の流れを考え、理解できるようになったことで、要旨の正確な理解もできるようになった。

課題

- 段落構成図で使用する記号が、どのような関係性を示すのか、授業内で十分に共通理解を図っておく必要がある。
- 協働学習の際に生徒の価値判断が色や形の見栄えに偏る場合がある。つながりや重要事項の明確化がプリントを使う意図であることを徹底しておかなくてはならない。